

文：ハイランド・真理子
 写真：デビッド・ダーシー&ハイランド真理子

Photo: David Darcy

山火事と異常気象に見舞われたオーストラリア

惨劇は突然に襲ってきた

オーストラリア、特に、南オーストラリア州、ビクトリア州、そして私たちの住んでいるNSW州は、猛暑が続いていました。南オーストラリア州は、とりわけ極端な暑さになることで知られており、州の北部で起きたブッシュファイアー（山火事）で、何軒もの家が焼かれ、その家の一軒に住んでいた90歳の女性は、多くの動物たちと住んでいましたが、近所の人の助けで、6匹の犬たちだけは助かったとのニュースがありました。それから南オーストラリア州では、気温が下がり、その代わりに、ビクトリア州と私たちの州に猛暑がやってきました。連日、40度を越える暑さ。一時は、47度まで気温が上がったのです。そこに、ビクトリア州のブッシュファイアーが起きました。現在、警察が放火と見て捜査を進めています。2月10日現在で、180人以上の人が亡くなり、さらにその数は増えています。

メルボルンの北西の美しい山々が、まるで月面のように真っ黒にな

ってしまいました。おとぎ話に出てくるような美しい山小屋風の家々も、皆、猛火に包まれてしまいました。週末に遊びに行く人たちが絶えなかったメアリースヴィルという小さなタウンは、住む人も家もすべて消えてしまいました。この町では2月末に町のお祭りが予定されていたのです。子供たちが描いたボスターには、鳥も、魚も、犬も描かれていました。そして、彼らも、すべていなくなったのです。家をなくした人々が7000人を越えています（2月18日現在）。シエルターには、着の身着のまま逃げてきた人々が、今、仮住まいをしています。「物はまた買えるけれど、命は買えないから」と語る若い夫婦と子供たち。子供たちは、家族の一員のジャック・ラッセルを抱えています。

他にも、すべてを失ったけれど、家族と、家族の一員である愛する犬と一緒に生き残った人々がたくさんいます。動物の愛護団体のRSPCAを始め、動物の各団体、動物関連のビジネスをする人たちは、ドッグ・フード、ベッド、クレート



NEWS 15
 Hell's fury: The survivors
 One man defeated the storm
 I saw town crumble
 Locals watched as fire reduced buildings to rubble
 Photos: Mark Connors

BUSHFIRE APPEAL
IT'S VITAL TO GET FINANCIAL ASSISTANCE HAPPENING IMMEDIATELY
 If the fire 72 hours the Salvoes distributed over \$100,000 to those affected by the fires. People had lost everything. Their homes, vehicles, ATVs, cars, ch, photos, everything. So it is important that we get cash to their hands as soon as possible.
 CALL 22 SALVOES (13 72 98) OR GO ONLINE TO SALVOES.ORG.AU

ブッシュ・ファイアーで助かったファミリーと彼らの犬の写真が載った新聞。

などを寄付し、さらに、火傷を負った動物たちを助けています。ペット・ホテルである、ボーディング・ケネルは、救助された犬たちや、一時的な預かりを無料ですることになりました。ところで、愛犬の友の読者に、どうしても、聞いていただきたい話があります。

今も、24時間体制で救助されたペットや野生の動物を治療しているクリニクの若い獣医師が語りました。「ブッシュ・ファイアーが起きた週末、ある人が、1頭の犬を連れてきました。前足のつま先は焼けただけ、目も鼻も焼けていました。彼は、自分の飼い主を探して、すでに灰になってしまった飼い主が横た

わる地面を掘っていたところを助け出されたのです。犬たちが、いかに、私たち人間を無条件で愛してくれているかという証明。私はこの話を聞いて泣きました。犬と亡くなった飼い主のために。

熱波の中での暮らし

さて、暑さについての対策は、いろいろありますが、オーストラリアの動物愛護団体であるRSPCAのチーフ・ベテリナリアン(主任医)は、「暑い季節にそれにきちんと対応してあげないと動物の命に関わることもあります。たとえば、十分な水を与えないこと、暑さを凌

げるシエーターを用意しないことは、重要な保護遺棄のケースとして処分に値します」と厳しい警告を出しています。気温が極度に上がってくると、それによって自然環境も異なってきます。

たとえば、ハエも、ノミも、ダニも増えてきます。したがって、人間と同じで、虫除けや

日焼け防止の手段も必要になってきます。専門家は「人間と同じに考えればいいのです。人間にとって耐え難いものは犬たちにとっても耐え難い」と語りま

す。人間と同じといっても、皮膚呼吸をしていない犬たちは、特に、暑さがこたえます。オーストラリアでは、ユートといつて荷台のある車で犬たちを連れてくる人を見か



Photo:David Darcy

けるのですが、夏の暑い時期にこれはまったくの虐待行為。また、車に置かれたまま暑さで死んでしまった犬の事故がオーストラリアで、年間何件もあります。散歩や、運動は、朝晩の涼しいときにすること。つまり、先ほどの言葉が生きてくる。人間でも、日中



サモエドのSKYちゃん。日陰を選んで穴を掘り暑さに耐えています。

がいつそうこたえる場合も。たとえば、ブルドッグやバグ、ペキニーズやボクサーなど、短鼻の犬たちには、できるだけの暑さ対策をして欲しい」と言っていました。家に、犬をおいて仕事に出かけたりするときには、水はウォーター・ボールに1つだけ置くのではなく、もうひとつどこかにボールをおいておくこと。犬たちが間違つてウォーター・ボールひっくり返した場合でも、彼らが水を飲むことができる環境は重要です。ウォーター・ボールに、氷を入れておくのも一つのアイデア。

庭に犬たちをおいて飼つておく場合には、当然、陰になるシェードを作つておくこと。暑さで参つて

る犬たちには、冷たいタオルで頭や背中を冷やしてあげたい。オーストラリアの犬には皮膚がんが多いのですが、それは紫外線の強い日光を浴びるため。もちろん、世界で人の皮膚がんがもっとも多いのもオーストラリアです。

したがって、オーストラリアでは、日向ぼっこをするのが好きな犬たちのための、日焼け止めクリーム(犬用)を塗ったり、日よけキャップや、サングラスなども犬用があるので、それを使うのもいいと言われています。それから、外に犬舎がある場合には、床がコンクリートの場合には、大いに注意する必要があります！肉球が焼けてしまう場合もあるからです。ちよつとつかりしそうですよね。この場合には、コンクリートの上に何か敷いてあげるか、シェード(陰)を作つてやること。

なお、高齢の犬や肥満の犬たちには、特別のケアが必要であることを、ドント・フォーゲット！暑さに参つている兆候は、はあはあと息を苦しそうにしていること。呼吸や心拍が速くなっていること。食べ物を吐いたり、ドライ・スキンなど

日ごろは水に入らないSKYちゃんも、あまりの暑さにご覧のとおり海水浴です。



で、これらがあるときには、必ず獣医に行くことが必要になってきます。さて、シドニーの私の家の近所に住む、プリモ裕子さんの家には、サモエドのSKYちゃんがあります。サモエドは、当然夏には弱い。したがって、彼女は、庭の、もと、サツキが生えていたところに穴を掘つて、暑さを凌いでいるようです。「ここは家の南側なので、いつも日陰なのです。暑い日は冷たい土が出てくるまで掘つて、そこに埋まるようにして寝ています」と裕子さん。それから、海に近いところに住んでいるので、「暑い日はこれに限るよね〜！」と散歩のときに海に。「人間のあせものような、ホット・スポット」ができてダメージを受けた皮膚にも、海水はいいそうですから、一石二鳥かな」と裕子さんは言います。うちのサリーも、ふだんは水に入るのを嫌がるのですが、暑いときには、一目散に水に入りに入ります。そういえば、裕子さんがこんなことを言っていました。「以前、スカイ用に子ども用のプール(空気を入れて膨らますやつです)を買ったのですが、爪でひつかくので、使うのをやめました。まあ、わざわざプールに入れなくても、ホースで水浴びさせればいいし」。最後に、オーストラリアのテレビで、獣医師が勧めていた猛暑対策は、チキン・ストックを大きな容器に入れて凍らせて、ペロペロなめさせる、というものです。大きな塊りだと長持ちし、長時間にわたつて体温の上昇を抑えられるし、水分も補給できるというグッド・アイデア。もう一度思い出しましょう。「人間も犬も、暑さには弱いのです。人間にとつて不快なことは犬にとつても不快」といろいろとアイデアをつくつて、猛暑対策をしまし

よう。

世界中、地球の温暖化で、ますます暑くなりそうですから。